

OTC薬、プライマリケアを対象とする

薬剤師の臨床判断ワークショップ 2015

対象症候『腹痛』

OTC薬（一般用薬）は、プライマリケア、セルフメディケーションのツールとして、地域の医療システムの中では重要な役割を担っています。薬局、ドラッグストアで、OTC薬を取り扱う薬剤師は、地域医療の入り口をあずかる者としての意識と責任と能力が必要です。

OTC薬でセルフメディケーションを支援する薬剤師には、OTC薬が妥当とされる患者と、受診勧奨や緊急対応などを要する患者を適切に判断すること、すなわち、臨床判断の能力を身に付ける必要があると考えています。日本アプライド・セラピューティクス学会では、良くある症候（頭痛、腹痛、咳・呼吸困難、皮膚・粘膜症状）を対象とする『薬剤師の臨床判断ワークショップ』を積み上げながら、臨床判断の指針の確立を目指してきました。

今回取り上げます「腹痛」は薬局に健康相談で来局される方の代表的な症候です。皆さんは「腹痛」を訴える患者に、薬局窓口でどのように対応されているのでしょうか。患者の病態を反映する情報や所見を自ら収集して疾患を推測し、さらに薬剤師が適切な対処法を選択して（トリアージ）提案できるよう、演習と実習を通じて実践能力を向上させ、セルフメディケーションを支援するプライマリケアの担い手としての実力を向上させましょう。

日時：2015年5月24日（日）9:00～18:00（受付開始：8:30）

会場：京都薬科大学

<http://www.kyoto-phu.ac.jp/>

企画：木内祐二 先生（昭和大学薬学部）、狭間研至 先生（ファルメディコ(株)）

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会

概要

1) 「腹痛」に対する臨床判断

患者からの情報収集と疾患の鑑別、患者に対するトリアージのプラン作成

— グループ討議とロールプレイを中心に —

2) フィジカルアセスメント

基本的なバイタルサインの測定方法 — 聴診、血圧測定などの実習 —

募集人数：一般：40名（1グループ7名程度）プリセプター（1回以上参加した先生）：10名

参加費：会員・準会員 5000円 非会員：10000円

参加申込：メール件名を「臨床判断ワークショップ2015 腹痛参加希望」として、所属、氏名、会員/準会員/非会員、一般かプリセプターか選択し、連絡用アドレスをご記入のうえ、下記アドレス宛お送りください apusera_ws01@yahoo.co.jp

詳細は、申込者に追ってお送りいたします。

参加締め切り：5月17日（先着順）

・締め切り以降のキャンセルでは、参加費をお支払いいただきます。

・ワークショップ認定指導者制度が発足いたしました。詳しくはホームページをご覧ください。

一般参加と合わせ、プリセプターとしてのご参加も募集いたします。

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会

薬剤師研修センター認定(申請予定)

日本アプライド・セラピューティクス学会ホームページ：<http://www.applied-therapeutics.org/>